

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2005-2017 ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018-2023 開催実績

	2005年	2006年	2007年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	-	-	-
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / 梶本音楽事務所
オフィシャル・チャクティング・マネジメント	びあ	電子チケットびあ	電子チケットびあ
特別協力	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市、読売新聞社、日本テレビ	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市、読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社
助成	平成17年度文化庁国際芸術交流支援事業 フランス外務省フランス芸術文化活動協会	平成18年度文化庁国際芸術交流支援事業 フランス外務省フランス芸術文化活動協会 財団法人アサヒビル芸術文化財団	平成19年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人 ロームミュージックファンデーション
参加事業	「愛・地球博」パートナーシップ事業 2005年日・EU市民交流年 丸の内元気文化プロジェクト	モーツァルト2006 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア
会期	2005年4月24日(日)～5月1日(日) [東京国際フォーラム] 4月29日(金)～5月1日(日) [丸の内周辺エリア] 4月24日(日)～5月1日(日)	2006年4月29日(土)～5月6日(土) [東京国際フォーラム] 5月3日(水)～5月6日(土) [丸の内周辺エリア] 4月29日(土)～5月6日(土)	2007年4月29日(日)～5月6日(日) [東京国際フォーラム] 5月2日(水)～5月6日(日) [丸の内周辺エリア] 4月29日(日)～5月6日(日)
テーマ	ベートーヴェンと仲間たち 日本人にはもともと馴染みの深い作曲家ベートーヴェン。おなじみの名曲から知られざる佳曲までを彼とゆかりの作曲家たちの楽曲とともに紹介し、LFJならではの音楽の楽しみ方を提案。 [主な作曲家] ベートーヴェン、ハイドン、シューベルト、 フンメル、モーツァルト、クレメンティ、 ツェルニー、モシエレス	モーツァルトと仲間たち 天才作曲家・モーツァルトの魅力、交響曲、協奏曲、室内楽曲、ピアノ曲、オペラ、声楽にわたって紹介。生誕250年にふさわしい史上空前規模のモーツァルト音楽祭として開催。 [主な作曲家] モーツァルト、ハイドン、フンメル、 クレメンティ、ハッハ、ベートーヴェン、 リスト	民族のハーモニー 19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパ各地の伝承音楽に魅せられ民族色豊かな音楽を生み出したエコール・ナショナル(国民楽派)の作曲家たちの名曲が集結。 [主な作曲家] チャイコフスキー、スメタナ、 ドヴォルザーク、シベリウス、グリーグ、 フアリヤ、フォーレ、ドビュッシー
出演者総数	1,558人	1,870人	2,264人
出演者数	海外アーティスト 462人 国内アーティスト 350人 市民・学生オーケストラ 251人 関連イベント、エリアイベント 495人	767人 165人 440人 498人	813人 342人 1,109人
公演回数	209公演(回) 東京・丸の内エリア、他 46公演(回) 東京国際フォーラム(有料) 120公演(回) 東京国際フォーラム(無料) 43公演(回)	377公演(回) 78公演(回) 145公演(回) 154公演(回)	473公演(回) 92公演(回) 181公演(回) 200公演(回)
チケット販売数(有料公演)	116,508枚	160,218枚	200,441枚
販売可能チケット枚数	-	173,980枚	-
販売率	-	92.1%	92.1%
来場者数	323,687人 東京・丸の内エリア、他 17,377人 東京国際フォーラム(有料) 306,310人	695,000人 205,000人 490,000人	1,060,000人 400,000人 660,000人
トピックス	◎ LFJ日本初上陸 クラシックの常識や概念を大きく打ち破ったLFJがセンセーショナルなデビューを飾った ◎ 来場者の半数がクラシック初心者 32万人を超える来場者の50.7%がクラシックビギナー。クラシック音楽の裾野を拡大 ◎ ファミリーで参加“0歳からのコンサート” 小さな子どもたちにも本格的なコンサートを楽しむ機会を提供するコンサートがスタート ◎ 経済効果は推定41億円 直接経済効果と間接波及効果を合わせた音楽祭開催による経済効果は41億円	◎ 69万5千人が来場 総来場者数は69万5千人。これまでのクラシックの世界では考えられない数字を記録 ◎ チケット販売率92.1% 有料公演は16万枚のチケットを販売。その販売率は92.1%となった ◎ 体験型プログラム“キッズ・プログラム” 子どもたちの音楽を感じる心を育む多彩なワークショップやコンサートを展開 ◎ 6時間にわたるTV生放送 NHK・BS2「春のモーツァルトまつり」が、会場内特設スタジオから全国へ向け発信	◎ 来場者が100万人を突破 東京国際フォーラムと丸の内・周辺エリアの8日間の来場者総数が106万人に達した ◎ 東京国際フォーラムでの開催が5日間に有料公演、無料公演を合わせて381ものコンサートが5日間にわたって開催された ◎ 地上広場がコンサートホールに 誰でも気軽に音楽を楽しむ新たなステージ「ミュージック・キオスク」が登場し大盛況に ◎ ワールドミュージックの演奏家も登場 クラシックの楽曲のルーツである民族音楽の演奏家たちが熱きステージを繰り広げた

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2005-2017 ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018-2023 開催実績

	2008年	2009年	2010年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	-	-	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットング・マネジメント	電子チケットぴあ	電子チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社
助成	平成20年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人ロームミュージックファンデーション	平成21年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人ロームミュージックファンデーション 財団法人ロランド芸術文化振興財団	平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人ロームミュージックファンデーション 財団法人ロランド芸術文化振興財団
参加事業	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	ショパン2010 丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア
会期	2008年4月29日(火)～5月6日(火) [東京国際フォーラム] 5月2日(金)～5月6日(火) [丸の内周辺エリア] 4月29日(火)～5月6日(火)	2009年4月28日(火)～5月5日(火) [東京国際フォーラム] 5月3日(日)～5月5日(火) [丸の内周辺エリア] 4月28日(火)～5月5日(火)	2010年4月28日(水)～5月4日(火) [東京国際フォーラム] 5月2日(日)～5月4日(火) [丸の内周辺エリア] 4月28日(水)～5月4日(火)
テーマ	シューベルトとウィーン 19世紀から現代に至るまで、シューベルト自身の曲から各時代の作曲家によるシューベルトへのオマージュ作品まで、時代を超えて今につながるシューベルト像を鮮やかに描き出した。 [主な作曲家] シューベルト、サリエリ、モーツァルト、ベートーヴェン、ツェルニー、シュトラウス二世、メンデルスゾーン	バッハとヨーロッパ 後世の多くの作曲家や演奏家に尊敬され、影響を与えたバッハ。彼の膨大な作品をもとに様々な観点から、バッハを現代に蘇らせる日本ではかつてない規模のパロックの祭典として開催。 [主な作曲家] バッハ、クーラン、ヴィヴァルディ、ヘンデル、フクステフーテ、シューマン、リスト、レーガー、ヴェーベルン	ショパンの宇宙 2010年に生誕200年を迎えたショパン。19世紀における最も革新的で天才的な作曲家である彼の音楽が生まれてきた様々な背景を再現し、広大なショパンの音楽宇宙を再構築。 [主な作曲家] ショパン、バッハ、ヘンデル、フンメル、ベルリオーズ、リスト、メンデルスゾーン、シューマン、ドビュッシー、バガニーニ
出演者総数	2,169人	1,620人	1,327人
出演者数	・海外アーティスト 730人 ・国内アーティスト 211人 ・市民・学生オーケストラ 1,228人 ・関連イベント、エリアイベント	394人 289人 937人	475人 155人 697人
公演回数	529公演(回) ・東京・丸の内エリア、他 119公演(回) ・東京国際フォーラム(有料) 221公演(回) ・東京国際フォーラム(無料) 189公演(回)	419公演(回) 116公演(回) 168公演(回) 135公演(回)	358公演(回) 93公演(回) 174公演(回) 91公演(回)
チケット販売数(有料公演)	181,724枚	137,094枚	140,915枚
販売可能チケット枚数	228,079	145,196	153,114
販売率	79.70%	94.4%	92.0%
来場者数	1,004,000人 ・東京・丸の内エリア、他 364,000人 ・東京国際フォーラム(有料) 640,000人	711,000人 300,000人 411,000人	807,900人 387,900人 420,000人
トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ◎ラ・フォル・ジュルネ学校へ行く 千代田区内小学校を演奏家が訪れワークショップを行うアウトリーチ活動を実施 ◎ボランティアが会場運営に参加 会場運営スタッフとしてボランティアを募集。心のこもった対応が高い評価を受けた ◎LFJの委嘱によるオリジナル作品初演 国内外3名の現代の作曲家にシューベルトへのオマージュ作品を委嘱 ◎金沢が世界で6番目のLFJ開催都市に 石川県立音楽堂と金沢市アートホールを中心に7日間・139公演が開催された 	<ul style="list-style-type: none"> ◎中高生席を新設 ホールAの一部公演の席を中高生を対象にワンコイン500円で販売 ◎ホールAでサービス映像を提供 後方の来場者まで演奏家の表情や手元を楽しめるようステージ脇に大型スクリーンを設置 ◎5周年記念前夜祭スペシャルコンサート LFJ5年間の歩みを一挙に巡る一夜限りのスペシャルコンサートを前夜祭として開催 ◎エコアドバイザーが活動 東京国際フォーラムの環境保全活動の一環として社員がエコアドバイザーを務めた 	<ul style="list-style-type: none"> ◎東京都との共催 東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団との共催による開催が決定 ◎音楽祭の輪が更に広がる 東京、金沢に次いで、新潟市、びわ湖でのLFJの開催が決定 ◎新音楽祭タイトル・ロゴ アートディレクター佐藤可士和氏による新しい音楽祭タイトル・ロゴが誕生 ◎今年もオリジナル新企画が登場 クレール・オプス・福袋コンサートとLFJ会場でも楽しめる楽しいコンサートを実施

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2005-2017 ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018-2023 開催実績

	2011年	2012年	2013年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットing・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	三菱地所、フランス大使館、 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市	読売新聞社、三菱地所、フランス大使館 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市	読売新聞社、三菱地所、フランス大使館 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市
助成	公益財団法人ロームミュージックファンデーション	公益財団法人ロームミュージックファンデーション	笹川日仏財団 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団 公益財団法人ロームミュージックファンデーション Palazzetto Bru Zane財団 Nantes Just Imagine
参加事業	日独交流150周年認定事業 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア
会期	2011年4月28日(木)～5月5日(木) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(火)～5月5日(木) [東京・丸の内エリア] 4月28日(木)～5月5日(木)	2012年4月27日(金)～5月5日(土) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(木)～5月5日(金) [東京・丸の内エリア] 4月27日(金)～5月5日(土)	2013年5月3日(金)～5月5日(日) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(金)～5月5日(日) [東京・丸の内エリア] 5月3日(金)～5月5日(日)
テーマ	タイタンたち 1850年から1950年までの約100年間、ブラームスからリヒャルト・シュトラウスを経て新ウィーン楽派にいたる音楽史の大きな転換期である「後期ロマン派」の潮流に焦点をあてた。 [主な作曲家] ブラームス、リスト、マーラー、 R.シュトラウス、シェーンベルク、 ブルックナー	サクル・リュス ロシアが誇る大作曲家であるチャイコフスキー、ラフマニノフのみならず、ロシア音楽の源泉であるロシア正教から20世紀の現代作曲家たちまで、ロシア音楽の壮大なパノラマを展開。 [主な作曲家] リムスキー＝コルサコフ、チャイコフスキー、 ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、 プロコフィエフ、ショスタコーヴィチ	パリ、至福の時 19世紀後半から現代まで、パリを彩ったフランス、スペインの作曲家たちを取り上げ、その色彩あふれる、情熱みなぎる150年間にわたる音楽パノラマを繰り広げた。 [主な作曲家] ビゼー、サン＝サーンス、ドビュッシー、 ラヴェル、フォーレ、プーランク、 メシアン、アルベニス、ファリャ
出演者総数	1,342人	2,097人	2,170人
出演者数	・海外アーティスト 128人 ・国内アーティスト 482人 ・市民・学生オーケストラ 732人 ・関連イベント、エリアイベント	703人 554人 840人	628人 437人 1,105人
公演回数	274公演(回)	351公演(回)	344公演(回)
公演回数	・東京・丸の内エリア、他 99公演(回) ・東京国際フォーラム(有料) 90公演(回) ・東京国際フォーラム(無料) 85公演(回)	118公演(回) 159公演(回) 74公演(回)	121公演(回) 135公演(回) 88公演(回)
チケット販売数(有料公演)	45,145枚	122,610枚	138,014枚
販売可能チケット枚数	45,966	160,633	154,292
販売率	98.2%	76.3%	89.4%
来場者数	220,774人	約460,000人	約510,000人
来場者数	・東京・丸の内エリア、他 74,774人 ・東京国際フォーラム(有料) 146,000人	約100,000人 約360,000人	約100,000人 約410,000人
トピックス	◎東日本大震災復興支援を応援 「とどけ！音楽の力 広がれ！音楽の輪」の合言葉のもと、復興への願いを込め開催 ◎点から、面へ本格展開 新会場・よみうりホール、有料公演アーティストの出演等、東京・丸の内エリアがさらに充実 ◎音楽大学との連携強化 公演への音大生の出演、キッズ・プログラムへの制作協力等、連携を深める展開を図った ◎日本5都市でLFI開催 鳥栖市での開催が決定。ロマン派の200年にわたるドラマが5都市にわたって繰り広げられた	◎世界9都市共通テーマ 国内外すべてのLFIが、初の共通テーマ「サクル・リュス」で開催 ◎エリアの音楽祭としてさらに充実 丸の内エリアで働く方々にLFIとクラシック音楽をより身近に感じていただく新企画を実施 ◎音楽祭ボランティアを一般公募 「LFIボランティア2012」を広く一般から募集。高校生3名を含めた157名が参加 ◎若い世代を応援 音大生、キッズ、ユースの音楽心を育成する数々のプログラムを展開	◎丸の内エリアと緊密な一体感を醸成 初の同一日程での開催、LFI2013オフィシャルガイドの発行、エリアコンサートの更なる充実 ◎フラッシュモブで音楽祭の開幕を飾る 有楽町駅前広場、丸ビル、東京国際フォーラムで、「ボレロ」によるフラッシュモブを実施 ◎音楽祭を支援する新たな仕組みづくり クラウドファンディングによる個人協賛を募り、225名の方々からご支援をいただいた ◎新たなチケット商品の発売 「1日バスポート券」、「セット券」の販売により、音楽祭の新たな楽しみ方を提案

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2005-2017 ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018-2023 開催実績

	2014年	2015年	2016年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 アートカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 アートカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットing・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	千代田区、読売新聞社、三菱地所 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本 フランス外務省、フランス文化省 ナント市、Folle Journée Futurs	千代田区、三菱地所 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、ナント市	三菱地所、 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、ナント市
助成	公益財団法人ロームミュージックファンデーション 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団	公益財団法人ロームミュージックファンデーション	公益財団法人ロームミュージックファンデーション
参加事業	日仏文化協力90周年 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム よみうりホール よみうり大手町ホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 大手町・丸の内・有楽町エリア	東京国際フォーラム 日比谷野音(日比谷公園大音楽堂) 大手町・丸の内・有楽町エリア
会期	2014年5月3日(土)～5月5日(月) [東京国際フォーラム、よみうりホール、 よみうり大手町ホール] 5月3日(土)～5月5日(月) [東京・丸の内エリア] 5月3日(土)～5月5日(月)	2015年5月2日(土)～5月4日(月) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月2日(土)～5月4日(月) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 5月2日(土)～5月4日(月)	2016年5月3日(火)～5月5日(木) [東京国際フォーラム] 5月3日(火)～5月5日(木) [日比谷野音] 5月4日(水)～5月5日(木) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 5月3日(火)～5月5日(木)
テーマ	10回記念 祝祭の日 これまで音楽祭を彩った10人の作曲家とその仲間たちが東京国際フォーラムに大集合。クラシック音楽を代表する顔ぶれが集い、10回目を祝うにふさわしい豪華なLJFが繰り広げられた。 [主な作曲家] ヴィヴァルディ、モーツァルト、ショパン、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、ラヴェル、ガーシュウィン	PASSIONS パシオン 魂の奥底から放たれる強い感情«パシオン»の入口となる3つの扉として「恋」「祈り」「いのち」を設定。ルネッサンス期から20世紀初頭までの400年間にわたる広大な音楽世界が展開。 [主な作曲家] J.S.バッハ、ショパン、リスト、ベートーヴェン、ブラームス、ラフマニノフ、スクリャーピン、メシアン	la nature ナチュール - 自然と音楽 ルネッサンスから現代、ポスト・クラシカルまで、500年にわたる音楽史の中から、季節、風景、動物、天体、天地創造等の観点から選曲。驚きと発見とイマジネーションに満ちた音楽の旅を楽しんだ。 [主な作曲家] ベートーヴェン、ドビュッシー、シューマン、シューベルト、チャイコフスキー、グリーグ、ラヴェル、ヴィヴァルディ
出演者総数	2,261人	2,344人	2,330人
出演者数	・海外アーティスト 573人 ・国内アーティスト 328人 ・市民・学生オーケストラ 1,360人 ・関連イベント、エリアイベント	518人 471人 1,355人	555人 295人 1,480人
公演回数	366公演(回) ・東京・丸の内エリア、他 137公演(回) ・東京国際フォーラム(有料) 147公演(回) ・東京国際フォーラム(無料) 82公演(回)	395公演(回) 166公演(回) 135公演(回) 94公演(回)	340公演(回) 143公演(回) 134公演(回) ※有料イベント8回含む 63公演(回)
チケット販売数(有料公演)	151,001枚	122,375枚	114,222枚
販売可能チケット枚数	167,399	151,524	152,329
販売率	90.2%	80.8%	75.0%
来場者数	約612,000人 ・東京・丸の内エリア、他 約181,000人 ・東京国際フォーラム(有料) 約431,000人	約427,000人 約60,000人 約367,000人	約429,000人 約63,000人 約366,000人
トピックス	◎開催10回をみんなで祝う 開催10回を記念するプログラムを多彩に展開し、祝祭感に満ちあふれた空間を創出 ◎特別追加公演「祝祭の夜」 アルゲリッチ、クレームルなど世界的演奏者たちによる夢の共演に5,000人が酔いしれた ◎新たな有料公演会場 「よみうり大手町ホール」が有料公演会場に変わり、室内楽と合唱を中心に15公演開催 ◎千代田区との連携プログラム 今年から特別協力に加わった千代田区との連携により多様なプログラムを繰り広げた	◎生まれ変わったLJF 2015年より、人間の文化を貫く普遍的なキーワードをテーマとすることにより一新 ◎LJFならではの新しい音楽体験 時代やジャンルを超えたLJFならではの発見と驚きに満ちた新しい音楽体験を届けた ◎若い世代を応援 U-25割引をはじめ、未来の音楽シーンを支える若い世代を応援する取り組みを展開 ◎ホールB7に大型スクリーンを設置 大型スクリーンを舞台両側に設置し、公演をより楽しんでいたおける環境をお客様に提供	◎さらに自由に、多様性の音楽祭へ 民族音楽も現代音楽も古楽も同居する世界にふたつとない音楽空間が繰り広げられた ◎日比谷野音で初開催 緑に囲まれた開放感一杯の会場で自然と一体になって音楽を楽しむ時間を提供 ◎更に多くの方がお楽しみいただけるLJFに 熱狂の日フランス先行発売システム利用料、公演チケット価格の見直し等を実施 ◎より地域に根ざした音楽祭をめざして 丸の内仲通り、日比谷公園等を新たな会場に加え、地域との連携をさらに強化

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2005-2017 ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018-2023 開催実績

	2017年	2018年	2019年
主催	東京国際フォーラム	ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018運営委員会	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2019 運営委員会
共催	-	※上記委員会メンバー 株式会社KAJIMOTO 株式会社東京国際フォーラム 豊島区 三菱地所株式会社	※上記委員会メンバー 株式会社KAJIMOTO 株式会社東京国際フォーラム 三菱地所株式会社
アドバイザー・コミティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会		
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チャクティング・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	三菱地所、 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本、ナント市	三菱地所 東京芸術劇場	三菱地所
助成	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション	-	-
参加事業	丸の内元気文化プロジェクト	-	-
会場	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア	(東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町等) 池袋エリア (東京芸術劇場、池袋西口公園、南池袋公演等)	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、日本橋、日比谷エリア
会期	2017年4月29日(土)～5月6日(土) [東京国際フォーラム] 5月4日(木)～5月6日(土) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 4月29日(土)～5月6日(土)	2018年4月28日(土)～5月5日(土) [東京国際フォーラム・池袋エリア] 5月3日(木)～5月5日(土) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 4月28日(土)～5月5日(土)	2019年5月3日(金)～5月5日(日) [東京国際フォーラム] 5月3日(金)～5月5日(日) [大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、日本橋、日比谷] 5月3日(金)～5月5日(日)
テーマ	ラ・ダンス 舞曲の祭典 ルネサンスから今日まで600年間にわたる舞曲とリズムのパノラマを展開。日本クラシック史上最大級となる舞曲の祭典としてワクワクするような躍動感と爆発的なエネルギーが会場全体にみなぎった。 [主な作曲家] ショパン、ブラームス、バッハ、リスト、アリア、チャイコフスキー、バルトーク、ストラヴィンスキー、ラベル、ピアソラ	モンド・ヌーヴォー 新しい世界へ 新しい世界へと開かれた精神が異文化と出会って生まれた、刺激に満ちた異文化の接触から生まれた様々な音楽作品に光を当て、作曲家たちの心揺さぶる出会いのドラマを楽しんだ。 [主な作曲家] ショパン、ラフマニノフ、プロコフィエフ、ドヴォルザーク、ヘンデル、スカルラッチィ	ボヤージュ 旅から生まれた音楽 (ものがたり) 新たなインスピレーションを求めて異国の地を目指した作曲家たちが、異文化から吸収したさまざまな刺激を自分達の創作に取り入れた。その作曲家たちの旅の奇跡を多彩なプログラムと共に紹介した。 [主な作曲家] モーツァルト、ハイデン、リスト、ベルリオーズ、メンデルスゾーン、グリンカ、チャイコフスキー、サン＝サーンス、ラヴェル、シャブリエ
出演者総数	2,501人	2,458人	2,201人
出演者数	・海外アーティスト 475人 ・国内アーティスト 605人 ・市民・学生オーケストラ 1,421人 ・関連イベント、エリアイベント	468人 582人 1,408人	418人 489人 1,294人
公演回数	326公演(回) ・東京・丸の内エリア、他 135公演(回) ・東京国際フォーラム(有料) 122公演(回) ・東京国際フォーラム(無料) 69公演(回)	451公演(回) ※池袋エリア含む 200公演(回) 178公演(回) 73公演(回)	298公演(回) 108公演(回) 124公演(回) 66公演(回)
チケット販売数(有料公演)	115,778枚	119,177枚	120,650枚
販売可能チケット枚数	141,574	182,007	142,390
販売率	81.8%	65.5%	84.7%
来場者数	約422,000人 ・東京・丸の内エリア、他 約66,000人 ・東京国際フォーラム(有料) 約356,000人	約432,000人 ※池袋エリア含む 約92,000人 約340,000人	約425,000人 約59,000人 約366,000人
トピックス	◎LFJでしか体験できない音楽の世界 クラシックの傑作から、タンゴやフラメンコ、和太鼓やジャズまで、多彩なプログラムが目白押し ◎参加型スペシャルプログラム ホールEキオスクステージでは子どもから大人まで踊って楽しめるスペシャル企画を実施 ◎生まれ変わった地上広場イベントステージ 地上広場キオスクがイベントステージへと進化し多彩な企画とフレッシュな演奏が繰り広げられた ◎LFJチケット販売サイト “誰でもいつでも・手数料無料”でチケットを購入できるオフィシャルチケット販売サイトを開設	◎進化し続ける音楽祭 誰もが知っているクラシックの超名曲からレア曲、さらに地中海のガムス・グア・ミュージックまで、ますます多岐にわたる進化した音楽祭 ◎池袋エリアでも同時開催 新たに池袋エリアでも3日間同時開催、LFJ&池袋ならではの趣向に富んだ内容を展開 ◎音楽祭の名称をリニューアル 池袋エリアへの拡大を機に、これまでの名称「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」を一新。都内2カ所に広がることにより、東京という都市の魅力を一層発信	◎15回目を迎えた音楽祭 2005年の日本初上陸から15回目の開催を迎え、“チケット1枚から始まる音楽三昧”の醍醐味を今年も多くの方々へ体験いただいた。 ◎参加型プログラムが更に充実 ホールEでの聴衆参加型スペシャル公演に加え、演奏に参加できる“みんなで「宝島」”、3歳以上対象の“キッズのためのオーケストラコンサート”と客席からも参加できるプログラムが繰り広げられた。 ◎チケット購入が便利に スマホで簡単に利用できる電子チケットを本格導入 公式サイトでは分かり易い残席表示も導入

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2005-2017 ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018-2023 開催実績

2023年	
主催	ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 運営委員会
共催	※上記委員会メンバー 三菱地所株式会社 株式会社東京国際フォーラム 株式会社KAJIMOTO
アドバイザー・コミッティー	
企画制作	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケット・マネジメント	チケットぴあ
特別協力	三菱地所
助成	-
参加事業	-
会場	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町、東京駅、京橋、銀座、日本橋、日比谷エリア
会期	2023年5月4日（木）～5月6日（土） [東京国際フォーラム] 5月4日（木）～5月6日（土） [大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、日本橋、日比谷] 5月4日（木）～5月4日（土）
テーマ	BEETHOVEN – ベートーヴェン 3年越しベートーヴェンの生誕250周年を記念し、傑作の数々を改めて紹介するとともに、滅多に聴くことのできない「レア」な楽曲や、19～21世紀の作曲家によるオマージュ作品にも光を当てた。 [主な作曲家] ベートーヴェン
出演者総数	1,247人
出演者数	・海外アーティスト 32人 ・国内アーティスト 727人 ・市民・学生オーケストラ 488人 ・関連イベント、エリアイベント
公演回数	184公演（回）
公演回数	・東京・丸の内エリア、他 98公演（回） ・東京国際フォーラム（有料） 65公演（回）※マスタークラス含む ・東京国際フォーラム（無料） 21公演（回）
チケット販売数（有料公演）	86,542枚
販売可能チケット枚数	98,074
販売率	88.2%
来場者数	約180,000人
来場者数	・東京・丸の内エリア、他 約30,000人 ・東京国際フォーラム（有料） 約150,000人
トピックス	◎4年ぶりの開催 新型コロナウイルスの影響を受け、2020年より開催を断念していたL.F.Jが4年ぶりに復活。ホールA、ホールC、ホールD7を有料公演会場とし、ホールB5でマスタークラス・講演会を、ロビーギャラリーやガラス棟会議室では出展者ブースを展開した。天候にも恵まれ、地上広場では多くの人が、フードやドリンク、ステージを楽しんだ。 ◎音楽を身体で楽しむ 音楽を視覚（光）と触覚（振動）で感じられる音楽装置「SOUND HUG」（サウンドハグ）席を設け、障害の有無によらない新しい音楽の楽しみ方を提案